



議会だより

でいすかす

121号

発行：登別市議会／編集：広聴・公開委員会／発行日：2024.5.1

登別市議会

で

検索

または



市議会ウェブサイトやフェイスブックページで、議会の活動や各種情報をご覧ください



▲登別市立西陵中学校社会科授業の様子



▲ピンクシャツ大作戦in登別の様子

ピンクシャツ大作戦および 中学生の社会科授業を行いました

多様性のある議会を目指している本議会では、地元学生への主権者教育や社会活動支援に対して積極的に協力しています。

西陵中学校では、令和4年から社会科授業の一環として、議会改革の取り組みの解説のほか、選挙権や被選挙権、請願権などについて議長が解説を行い、さらに今年は議場内を見学してもらうなど、議会を身近に感じていただきました。

また、地元学生の実行委員会による、いじめ反対の意思表示であるピンクシャツ大作戦に賛同し、市長をはじめ、職員、議員がピンク色の物を身に着けて議会に参加するなど、多様性の在り方について考える日として、多くの方々へ参加を呼びかけました。(注)

西陵中学校様の社会科授業の様子は、市議会フェイスブック1/31をご覧ください



目次

| | |
|------------------|--------|
| 委員会だより | ②ページ |
| 一般質問 | ③～⑤ページ |
| 補正予算審査、その他 | ⑥ページ |



▲令和5年度補正予算審査（令和6年2月28日開催）の様子

令和6年第1回定例会における 議案の賛否状況

第1回定例会で上程された議案はすべて可決されました。

重点活動テーマで行政視察を実施 総務・教育委員会

本委員会では、重点活動テーマとして、個々を尊重し支えあう多様性のある包摂的な社会構築に向けて、*インフルエンティブ教育を取り組んでいる神奈川県の2市を行政視察しました。

厚木市は、共生社会の実現に向けて、全ての子どもができる限り同じ場で共に学び、共に育つことを目指しています。

大和市は、特別支援教育に関する専門性の高い機能を持ち、学校とのつながりを大切にしたい点として、大和市特別支援教育センターがあります。

また、児童生徒や保護者への切れ目のない継続した支援を推進して



▲厚木市への行政視察の様子

進めています。
なお、これらのテーマで視察報告会を3月25日に行いました。
(佐々木)

*インクルーシブ教育…国籍や人種、言語、経済状況、宗教、障がいのあるなしにかかわらず、すべての子どもが共に学び合う教育のこと。

理想の地域共生社会を 生活・福祉委員会 目指して

本委員会は、昨年11月に実施した行政視察の報告会を、1月30日に議場にて開催しました。

これまで市民の皆さまへの報告は、本市議会ウェブサイトで公開のみでしたが、さらなる有効性を高めることを目的として、報告会では報告のみに留まらず、意見交換の場へとつなげることができました。

ご参加いただいた皆さまには心より御礼申し上げます。

本委員会の活動の折り返しとなる令和6年度は、どこまでも誰一人取り残すことなく、市民の皆さまが、安心して暮らせる地域共生社会の実現に向けた政



▲行政視察報告会の様子

策提言へつなげるべく、活動の勢いをさらに増して取り組んでいきます。
(今野)

全市観光に向けた 意見交換会の開催 観光・経済委員会

本委員会では、令和5年度の市民との意見交換会を、1月17日にいぶり中央漁業協同組合と開催しました。

そこでは、地域経済振興の目的でさまざまな意見交換を行い、近年の漁獲高の減少や漁れる魚種の変化について情報提供をしていただきました。

3月6日には議会サポーターとの意見交換会を開催し、重点活動テーマの全市観光について、それぞれサポーターの皆さまから全市観光に向けたご意見やご提案を頂戴しました。

また、3委員会合同の視察報告会を3月25日に開催し、委員



▲いぶり中央漁業協同組合との意見交換の様子

会として取り組みを、市民の方にご理解いただけたと思います。
(田中)

議会・議員の役割と 今後の議員定数 議会運営委員会

本委員会では、令和5年度の議長諮問事項として、

①議論する議会として適正な議員定数および組織体制の見直しについて

②議論する議会の「見える化」について

③議論する一般質問を経た政策形成について、

グループ協議を進めています。昨年11月から、これからの議会・議員に必要なこととはと、

未来を見据えた議員定数についてをテーマに、市内4会場で意見交換会を開催し、参加者97人で163件の意見がありました。これらの意見を踏まえ、6月



▲議長諮問手交の様子

を目的に議会としての具体的な対策や議員定数などの協議を進めていきます。
(天神林)

サポーターとの 意見交換会を終えて 広聴・公開委員会

本委員会に所属する議会サポーターとの意見交換会を開催しました。

改選後、新体制となつて間もなく一年が経過しようとしていますが、活動状況の報告なども含めながら、より身近で多様性のある議会を目指してと題した重点活動テーマに添って、各委員から現状の活動内容について、意見を伺いました。

議会だよりや市議会ウェブサイトに並びにフェイスブックページ、議会フォーラムの開催内容等について、さまざまなお意見や所感をいただき、今後の委員会活動への参考となりました。



▲議会サポーターとの意見交換実施後の様子

新年度もより一層の充実を図り、広聴・公開活動を推進していくと考えています。
(伊藤)

令和6年第1回定例会 一般質問

[令和6年2月29日(木)～3月5日(火)]

議員11名が市政を問う



千田議員の
一般質問
中継はこちら

大規模災害、本市の
水道復旧は大丈夫なのか
千田文孝

質 能登半島地震では水道復旧の遅れも聞かれるが、本市の場合は。
答 実際の被災時には24時間以内に応急給水活動を開始し、被害調査や公益社団法人日本水道協会を通じた応援要請、応急復旧に着手する計画である。

3日以内に通水状況や応急給水に関する広報活動を開始し、遅くとも1カ月以内に、市内の大部分での給水開始を目標としている。
基幹施設である浄水場や配水池、ポンプ場は全て浸水想定範囲外にあり、施設の耐震化を進めることで速やかな復旧につなげていく。
復旧に必要な水道管路図や過去の完成図書は、大半がクラウド環境で保存されており、土地勘のない応援職員でもスマートフォンなどで情報確認ができ、GPS情報から場所の特定や被害状況が把握できるため、復旧作業の迅速化にもつながるものと考えている。



成田議員の
一般質問
中継はこちら

経済活性化とまちづくりの
一体的な取り組みは
成田昭浩

質 魅力ある観光地づくりの具体的な施策の推進とは。
答 観光客のニーズにかなった環境整備やサービスを持続的に展開していくために、令和6年度は、観光施策の方向性の指針となる観光ビジョンの作成

に着手したい。
本市には地域経済活性化への重要な道しるべとなる、登別市中小企業地域経済振興ビジョンがあり、生きたビジョンとするためには取り組みの進捗管理や検証、分析が重要です。
個々の事業の評価や検証と併せて、その先にある関係人口の創出、まちへの愛着、活性化についても指標化・定量化し、市民の関心や関わりについても可視化して公表すべきと考えます。
経済の活性化とまちづくりの一体的な取り組みを進めるのであれば、ビジョンへの進捗管理や検証の在り方について研究すべきであるといたしました。



工藤議員の
一般質問
中継はこちら

消防力の強化と
将来の在り方は
工藤 俱二雄

質 本市の消防力の強化と将来の在り方について質問しました。
答 消防職員の充足率は適正か。
質 本市消防本部の現在の消防隊員等の充足率については、約55%となっているため、消防車や救急車の乗り換え

運用を行っている。
そのため、救急車が出動するたびに消防車に乗らなければならない職員が不足することから、基本的に昼夜問わず、非番・週休の職員を招集しなければならぬ体制となっている。
今後、西いぶり消防指令センターの運用が開始され、消防庁舎の統廃合もされていくことから、充足率は約80%まで上昇するが、依然として専従化ができないため、専従化している近隣の市単独消防本部の充足率が90%以上であることを参考とし、消防体制の強化のため、引き続き職員確保に努めていきたいと考えている。

ごみ出しが困難な方に対する検討が必要では

小栗義朗



小栗議員の一般質問
中継はこちら

質 本市では、家庭ごみは朝8時までに出すこととしているが、フレイルなどでごみ出しが困難な方もおられる。このようなやむを得ない事情により夜間など、指定された時間外にごみを出した場合は不法投棄に当たるとのことか。

答 町内会など管理者の同意があれば、時間外であっても決められたごみステーションへのごみ出しは問題ない。

質 他の自治体では、夜間戸別収集などを行っているところもあるが、本市でも、今後、ごみ出しが困難な方が増えてくると予想されることから、夜間収集や戸別収集などについて検討する必要があるのでは。

小中学校統合における課題は

戸井肇



戸井議員の一般質問
中継はこちら

質 令和6年度の教育行政執行方針全般について質問しました。

質 幌別小学校と幌別東小学校並びに幌別中学校と登別中学校の統合時における疎外感、孤独感の払拭に対する考えは。

答 疎外感、孤独感の払拭については

重要な課題と認識している。統合時の教員配置に配慮することはもちろんのこと、統合前の年間を通じて授業や学校行事において両校の親睦を深めていく。

また、幌別中学校と登別中学校との統合に当たっては、両校の一体感を創出するため統合を機に新たな制服を導入する方向で取り組んでいる。

質 通学に対する交通費など、費用負担の考えは。

答 交通費の補助もしくはスクールバスの運行により、さらなる費用負担が発生しないよう検討している。

今後の図書館本館は様々な機能を持った施設に

佐々木久美子



佐々木議員の一般質問
中継はこちら

質 身近に利用できる図書館の現状と課題は。

答 アーニス分館に大活字本をそろえているほか、授乳室も整備している。

質 一人一人の自己実現を助ける図書館の現状と課題は。

答 西いぶり広域図書館や北海道図書館ネットワークを活用して、広範な資料の提供に努めている。

課題は資料の配置・保管場所が分散しているため、利用者が資料を探しにくいことである。

質 図書館本館のハード面における課題は。

答 エレベーターがないこと、書庫や開架スペース、閲覧席、学習席、作業スペースなどが不足している。

質 施設整備に対する考えは。

答 現在の本館ではできないサービスを展開できる機能を持った施設を目指す必要があると考えている。

令和6年度の教育行政執行方針全般について質問しました。

寄付額12億円を目指すふるさと納税の対策は

天神林美彦



天神林議員の一般質問
中継はこちら

質 令和6年度の市政執行方針において、寄付額12億円を目指すふるさと納税の状況と課題、今後の対策について確認したい。

答 令和5年度の寄付額の状況としては、令和6年2月末現在で10億円を超

えており、過去最高の寄付額となっている。

課題については、返礼品に指定された割合が最も多いのが、ウニの約6割、次いで宿泊券などの観光関連の返礼品が約2割となっていることから、ウニ以外の返礼品の開発や、約16%と低いリピーター割合を高めていくことが課題と捉えている。

今後の対策としては、返礼品の満足度向上をはじめ、SNSやダイレクトメールを活用した既存の寄付者への返礼品情報等の発信、イベントへの出席などを通じて、寄付者との関係性を構築する取り組みなども行っていく。

これからの公共施設の
活用は
岩田 恵



岩田議員の
一般質問
中継はこちら

質 令和4年度実績における小中学生の利用割合が、市民プールらくあで14%、総合体育館で29%と低いと考えられているが、一部の小学校では、児童のみでの校区外行動範囲の制限があり、利用の妨げと関連性があるのでは。

答 小学生自身が、児童だけで行くことができない事例は一定数あるが、それは一概に学校のルールのみだけでなく、保護者の都合や教育方針、時間、金銭的な事情など、複合的な理由があると認識している。

質 理由については理解するが、公共施設の利用だけでも、児童のみで行けるように、教育委員会でルールを統一することはできないのか。

答 さまざまな要因を考慮し、学校運営協議会や、PTA役員会での意見を踏まえ、各学校で決定しており、一律の運用は難しいが、校長会などを通して情報共有を図っていく。

市役所の移転後、
アーニスに図書館の設置は
田中 寛志



田中議員の
一般質問
中継はこちら

質 令和8年にアーニスから観光経済部が新庁舎に移転するが、その跡に図書館を移設する考えについて伺う。

答 登別市公共施設等総合管理計画等において、図書館については、老朽化などにより長期的な使用は難しい状況

人の命もペットの命も
救うまちづくりを
足立 知也



足立議員の
一般質問
中継はこちら

質 ペット同行避難が可能な避難所の収容頭数は。
答 市民会館、鷲別コミュニティセンター、鉄南ふれあいセンターがそれぞれ39頭、観光交流センターが60頭、合計17頭を想定している。

質 ペット同行避難が可能な避難所増設の考えはないのか。
答 定めた4カ所の避難所において訓練等を行い、課題等について検証を重ね、その結果を踏まえて検討していく。

質 ペットと同じスペースで過ごすことのできるペット同伴避難所を開設する考えはないのか。
答 ペットのにおいや鳴き声、他人のペットではアレルギー反応を起こしてしまうといった問題などにより、飼い主とペットが一緒の居住スペースで避難することは、現時点においては難しいものと考えているが、その必要性も理解しているので、今後模索していく。

災害対応能力のさらなる
強化を目指して
今野 幹大



今野議員の
一般質問
中継はこちら

質 フェーズフリーの考え方について、今後の取り組みは。
答 市職員に対しては、啓発を図るとともに、市民においても、フェーズフリーの概念について理解を深めていた

だけるよう、市公式ウェブサイトや広報紙などで意識啓発を図っていきたい。また、公用車の電動化による非常時の電源活用などについても検討していきたい。

質 災害ケースマネジメントは、発災以前の日頃の取り組みが重要と思われるが、今後の考えは。
答 個人に寄り添った必要な支援を行うためには、個人の要望をくみ取り、速やかに実現することが重要であり、官民が連携した支援体制の構築や、経済的支援、住まいの確保、生活再建のための具体的な支援について他自治体の取り組み事例などを参考に検討を進めていく。

予算・決算委員会 令和5年度補正予算審査 [令和6年2月28日(水)]

今期定例会での補正予算審査は、令和5年度予算の各会計における決算見込みによる増減の補正について、一般会計では、3億2千293万8千円を減額し、補正後の予算額を25億5千453万3千円として可決しました。

さらに、特別会計、企業会計についても決算見込みによる補正額を議決しました。

そのほか、追加補正予算として、登別市デジタル化促進補助金が計上され、質疑応答が行われました。

この事業の目的は、生産年齢人口の減少に伴う人手不足や原油価格・物価高騰などにより、中小企業を取り巻く環境は厳しさを増していることから、市内事業者が持続可能な経営基盤の確立や強化に向けたデジタル機器などの導入経費の一部を補助することにより、経営環境の改善を図るものです。

補助対象事業は、①グループウェア導入事業②ソフトウェア導入事業③POSレジ・キャッシュレス決済導入事業④ホームページ作成または機能向上事業⑤その他デジタル化に資するシステム等の導入事業であり、すでにほかの補助金などの交付決定を受けている事業は除くものとしています。

補助金額は、補助対象経費の2分の1で、上限額を30万円とし、8事業者分で合計240万円を計上額としています。
(千円)

※POS…販売時点情報管理の略。小売店の商品が販売された時点の情報を管理するもの。

請願とは

市民が、市政についての要望を議会に出すことができるものです。

請願をするには、文書で件名、趣旨、提出年月日、請願者の住所と氏名を記載し、押印のうえ、紹介議員名を記載し、議長あてに提出します。

提出された意見は、所管常任委員会に審査を付託し、その審査の結果を本会議に報告し、議会としての採択、不採択を決定します。

採択した請願は、市長、その他の執行機関に送付するに当たって、議会から処理の経過及び結果の報告を請求することができます。議会、執行機関双方に実現への努力が要請されます。



▲請願の付託案件審査の様子

請願の付託案件審査を行いました 観光・経済委員会 (令和6年3月8日(金))

請願の内容は、①多様な世代が利用しやすい多機能な公園の在り方について政策協議する、②地域の特性・ニーズに合わせた公園を整備するため、地域住民の意見を聞く場を必ず設置する、③くさばえ公園(新生町3)へバスケットコートを設置するという内容でした。

委員からは①、②に対しては採択に賛成する意見が出されたが、③については、多様性の観点などから地域の特性やニーズなどに合わせて、①の場で検討することとして、不採択とし①、②は採択しました。

(田中)

議会中継をスマートフォンなどで閲覧しませんか？

議会に足を運ぶことができない方も、スマートフォンやパソコンで本会議や委員会の生中継、過去の録画中継をご覧いただけます。市議会ウェブサイトへアクセスし、「議会中継」のリンクからご覧ください。



議会を傍聴しませんか？

本会議や各委員会は、自由に傍聴することができます。議会だよりの紙面ではお伝えできない議会や議員の生の姿を見聞できますので、ぜひお越しください。

令和6年第2回定例会は6月14日(金)
から開催される予定です。

意見書1件・決議1件が可決されました

意見書とは、市政の発展に必要な事柄の実現を要請するために関係機関に提出するものであり、決議とは、意見書と同時に市議会の意思を決定し、対外的に表明するものです。

第1回定例会では次の意見書および決議を可決し、意見書1件を国会・政府へ提出しました。

詳しい内容は、市議会ウェブサイトをご覧ください。

高齢者や若者が安心して老後を暮らせるように、物価上昇に見合う老齢基礎年金等の支給額の引上げを求める意見書

イスラエルとハマスの早期平和的解決を求める決議